



●実施概要

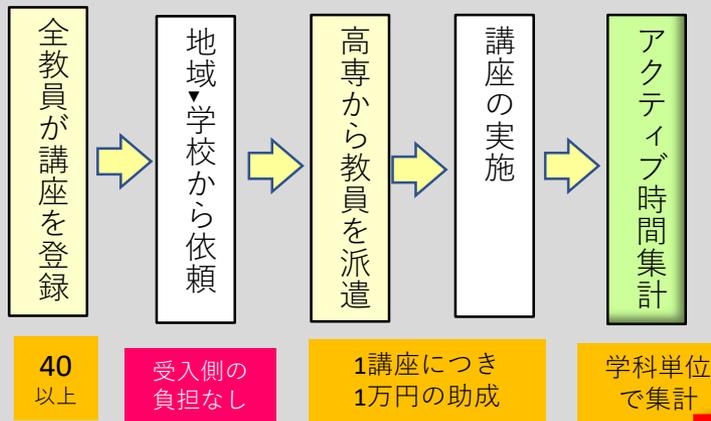
現 状

R2より、「地域生涯学習プラットフォーム」への全教員の登録と公開により、全校をあげた地域生涯学習を展開している。R2はコロナ禍で、ICT技術の活用による高専らしい取組み（リモート、オンデマンド）を行った。学科ごとにロボコン、コンピュータ、防災、デザインなどの分野で、ICTを活用した取組みがある。

目 的

地域貢献活動への取組を教員間、学科間でばらつきをなくし、すべての教員が地域社会に対し、社会貢献できる体制を構築する。そのため、実施プログラムごとのアクティブ時間（提案する概念）を積み上げ、個人、学科単位（5000人・人・時間）、全校（20000人・人・時間）の目標設定を行い、年度単位で成果を検証する。

地域生涯学習プラットフォーム (R2~)



アクティブ時間の集計 (R3試行)



成果指標
(数値目標)

総アクティブ時間: アクティブ時間の総合計の目標 **20,000人・人・時間**
 学科ごとの目標アクティブ時間: 学科単位で見たアクティブ時間の合計 目標 **5,000人・人・時間/学科**
 個人のアクティブ時間等の目標: 1回以上 **1人・人・時間/個人**

成果指標の
考え方

関与する人数と時間数 (アクティブ時間) を成果指標として設定する。
 アクティブ時間の概念として、(講師等の教員・学生)×(受講する児童・生徒・受入側教員)×(受講時間)
 教員等個人のアクティブ時間: 1人×(受講する児童・生徒・受入側教員)×(受講時間))